

前号までの「みんなが集めた生きもの
の記録」をまとめた生物記録集「別冊
湘南自然誌」の発行は取りやめました。

みんなでつくる リアルタイム 生きもの図鑑

2018. 3月・4月・5月版

※本コーナーは編集部で責任で企画・編集しています。
同定に迷った生きものについては、日本生態学会会員の
岸一弘先生にお願いしています。

生きもの写真募集!

昆虫・カエル・鳥・野の花など何でもOK!
写真データと「いつ」「どこで」「だれが」
を添えて下記アドレスまで。
(隊員以外の方の投稿も大歓迎)
ikimono@hiraoka-kg.com

図鑑の見方 ①場所 ②年月 ③氏名 ④危険な生き物 ⑤外来 外来種 ⑥珍しい生き物 ⑦岸先生同定種

昆虫綱 トンボ目



黒レッドデータブック
2006
要注意種

ハダロトンボ♀

①平岡の森 ②2018年5月上旬
③富岡誠一



春から初夏にかけて
出現するトンボ

アザビナカワトンボ or 伊豆個体群♀

①愛川町半原 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介



今増えている
南方系のトンボ

ボソミイトトンボ♂

①愛川町八音山 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介



クロイトトンボ♀(未熟)

①清川村宮ヶ瀬 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介



春から初夏にかけて
出現するトンボ

クロスジギンヤシマ♀

①川崎市多摩区枋形 ②2018年5月上旬
③堀田来佳



クロスジギンヤシマ♀(産卵)

①平岡の森 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介



春から初夏にかけて
出現するトンボ

シオヤトンボ♂

①愛川町八音山 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介



シオヤトンボ♂

①川崎市多摩区枋形 ②2018年5月上旬
③堀田来佳



シオカラトンボ♂(未熟)

①平塚市岡崎 ②2018年5月下旬
③佐々木水香



オオシオカラトンボ♂(羽化)

①平岡の森 ②2018年5月上旬
③堀田佳之介



ショウジョウトンボ(羽化)

①平岡の森 ②2018年5月上旬
③堀田佳之介



バッタ目

黒レッドデータブック 2006
要注意種

ケラ

①平岡の森 ②2018年3月下旬
③堀田佳之介



ヤブキリ幼虫

①平塚市土屋 ②2018年4月下旬
③山本陽向



成虫で冬を越すバッタ
涙を流しているような模様が目印

ツチイナゴ

①愛川町三増 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介



ショウリウウバッタ幼虫

①平塚市めぐみヶ丘 ②2018年5月中旬
③市川寛人



ショウリウウバッタ幼虫

①平岡町椎原京つば ②2018年5月下旬
③番家大嵩



草地で「♪ジキジキジキ」
と音がしたら
ぜひ探してみよう

ヒナバッタ♀

①川崎市多摩区枋形 ②2018年5月上旬
③堀田佳之介



ヒナバッタ♂

①小田原市早川 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介



触覚が短いので
見分け簡単

ナナフシモドキ幼虫

①小田原市久野 ②2018年5月上旬
③堀田佳之介



長い触覚と、
目の横の線が目印

三ホシトビナナフシ幼虫

①愛川町半原 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介

<p>ハサミ目 ★</p>  <p>ハマハサミシ</p> <p>①平岡幼稚園 ②2018年5月下旬 ③佐久間叶</p>	<p>カマキリ目</p>  <p>外来種ムネアカハラビロカマキリの分布拡大により、本種が減少している地域があります。(P4参照)</p> <p>ハラビロカマキリ古卵鞘</p> <p>①中井町井ノ口 ②2018年4月下旬 ③堀田佳之介</p>	 <p>ハラビロカマキリ卵鞘</p> <p>①真鶴町真鶴 ②2018年4月下旬 ③相澤るか</p>	 <p>ハラビロカマキリ卵鞘</p> <p>①平岡の森 ②2018年5月中旬 ③富岡誠一</p>
<p>カメシ目 外来 危</p>  <p>ヨコツナサシカメ</p> <p>触ると稀に口吻で刺されることがあります。</p> <p>①平塚市岡崎 ②2018年4月上旬 ③佐野龍生・陽向子・愛子</p>	<p>外来 危</p>  <p>ヨコツナサシカメ成虫・幼虫</p> <p>①平塚市入野 ②2018年4月中旬 ③橋本蓮生愛</p>	<p>外来 危</p>  <p>ヨコツナサシカメ</p> <p>①大磯町大磯 ②2018年5月上旬 ③市川寛人</p>	 <p>ヤニサシカメ幼虫</p> <p>①真鶴町真鶴 ②2018年4月下旬 ③相澤るか</p>
 <p>アカサシカメ</p> <p>①平岡幼稚園原っぱ ②2018年5月中旬 ③小澤瑞穂</p>	 <p>アカサシカメ</p> <p>①南足柄市広町 ②2018年5月上旬 ③新井梨紗・柚稀</p>	 <p>アカサシカメ</p> <p>①平塚市山下 ②2018年4月下旬 ③山本武翔</p>	 <p>アカシマサシカメ</p> <p>①中井町井ノ口 ②2018年5月中旬 ③金子義浩</p>
 <p>オオメナカカメシ</p> <p>①平塚市中原 ②2018年4月下旬 ③新井梨紗・柚稀</p>	 <p>オオモンシロナカカメシ</p> <p>①真鶴町真鶴 ②2018年4月下旬 ③堀田来佳</p>	 <p>ミツボシツチカメシ</p> <p>①平塚市日向岡 ②2018年3月中旬 ③山本智美</p>	 <p>小さな点々がたくさん</p> <p>コツチカメシ</p> <p>①平岡幼稚園原っぱ ②2018年5月中旬 ③堀田文之助</p>
 <p>肩に黒っぽい線があるよ</p> <p>チャバネアオカメシ</p> <p>①中井町井ノ口 ②2018年5月上旬 ③堀田佳之介</p>	<p>★</p>  <p>♂と♀で姿が違う面白い昆虫です</p> <p>オオワラジカイガラムシ♂</p> <p>①中井公園 ②2018年4月下旬 ③山本陽向</p>	<p>★</p>  <p>オオワラジカイガラムシ♀</p> <p>①平塚市土屋 ②2018年4月中旬 ③富岡誠一</p>	<p>コウチュウ目</p>  <p>ヒメマイマイカブリ</p> <p>①小田原市久野 ②2018年4月下旬 ③堀田佳之介</p>
 <p>コクワカタ♀</p> <p>①真鶴町真鶴 ②2018年4月下旬 ③堀田佳之介</p>	 <p>コクワカタ♀</p> <p>①平岡の森 ②2018年5月下旬 ③堀田佳之介</p>	 <p>オオセンシロコガネ</p> <p>①愛川町半原 ②2018年5月下旬 ③堀田来佳</p>	<p>神奈川県昆虫誌 2004によると、県内では稀であるらしい</p>  <p>珍</p> <p>ヒラタアオコガネ</p> <p>①愛川町三増 ②2018年5月中旬 ③堀田佳之介</p>

体長 6 mm 程度の小さなハナムグリ

ヒラタハナムグリ

① 平岡の森 ② 2018年4月下旬
③ 堀田佳之介

カブトムシ幼虫

① 平岡の森 ② 2018年3月下旬
③ 富岡誠一

県レッドデータブック 2006
要注意種

ウバタマムシ

① 中井町井ノ口 ② 2018年5月中旬
③ 金子義浩

ウバタマムシ

① 小田原市早川 ② 2018年5月中旬
③ 堀田佳之介

昼行性のホタル ★

オハホタル

① 愛川町三増 ② 2018年5月下旬
③ 堀田佳之介

小さな赤い紋が2つある
小型のテントウムシ
(体長5mm以下) ★

ヒメアカホシテントウ

① 平塚市めぐみか丘 ② 2018年3月中旬
③ 柴田哲士

ナナホシテントウ

① 中井町比奈窪 ② 2018年3月下旬
③ 市川寛人

ナナホシテントウ幼虫

① 平岡の森 ② 2018年4月上旬
③ 堀田佳之介

ナナホシテントウ

① 平塚幼稚園園庭 ② 2018年5月下旬
③ 新倉湊介

ムアシロホシテントウ

① 平塚幼稚園園庭 ② 2018年5月上旬
③ 堀田心結

日本最大級のテントウムシ
(体長約1cm)

カメノコテントウ

① 平塚市岡崎 ② 2018年5月中旬
③ 萩野愛子

ナミテントウ (斑紋異常?)

① 平塚市吉沢 ② 2018年4月中旬
③ 山本陽向

ナミテントウは色々な模様の
ハターンがあります

ナミテントウ (変種)

① 平塚市山下 ② 2018年4月中旬
③ 山本武翔・知美

ナミテントウ幼虫

① 平塚市中原 ② 2018年4月下旬
③ 新井梨紗・柚稀

ナミテントウ

① 平塚市中原 ② 2018年4月下旬
③ 新井梨紗・柚稀

ナミテントウ

① 真鶴町真鶴 ② 2018年5月上旬
③ ハレゼミ合同調査参加者

キイロテントウ

① 平塚市めぐみか丘 ② 2018年5月下旬
③ 柴田哲士

ベニカミキリ

① 平塚市土屋 ② 2018年4月下旬
③ 土屋生きもの観察会参加者

スキカミキリ

① 中井町比奈窪 ② 2018年3月下旬
③ 市川寛人

エグロトラカミキリ

① 愛川町三増 ② 2018年5月中旬
③ 堀田佳之介

ゴマフカミキリ

① 愛川町三増 ② 2018年5月下旬
③ 堀田佳之介

神奈川県昆虫誌 2004 によると
あまり多くないとされています 珍

クリサカミキリ

① 平塚市めぐみか丘 ② 2018年5月上旬
③ 柴田哲士

県レッドデータブック 2006
絶滅危惧Ⅲ類

ルリカミキリ

① 平塚市山下 ② 2018年4月中旬
③ 山本武翔・知美

ルリカミキリ

① 平岡の森 ② 2018年5月下旬
③ 堀田佳之介

外来

ラミーカミキリ

①平塚市山下 ②2018年5月上旬
③山本陽向

金色に輝く美しい昆虫です

セモンジンガサハムシ

①小田原市久野 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介

イチモンジカメノコハムシ

①真鶴町真鶴 ②2018年4月下旬
③堀田来佳

カミナリハムシの一種

①平塚市日向岡 ②2018年3月中旬
③山本智美

イモサルハムシ

①平塚幼稚園原っぱ ②2018年5月中旬
③小澤瑞穂

ハエ目

マトカカンボ

①平塚市岡崎 ②2018年5月上旬
③佐野愛子

カスリヒメガカンボ

①平岡の森 ②2018年4月上旬
③堀田佳之介

メスアケハエ♀

①平塚市山下 ②2018年4月下旬
③山本陽向

チョウ目

ホソオヒヒゲナガ

ヒゲ(触角)がなが〜い面白い蛾

①愛川町三増 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介

Illiberis 属の一種

①平塚幼稚園運動場 ②2018年5月中旬
③吉田夕夏・裕・ゆかり

バラシロエダシヤク

①愛川町三増 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介

ウメエダシヤク幼虫

①平塚市吉沢 ②2018年4月上旬
③山本武翔

ウメエダシヤク幼虫

①平塚市中原 ②2018年5月下旬
③新井梨紗・柚稀

春にしか見られない大型の蛾

イホタカ

①平塚市土屋 ②2018年3月下旬
③小山瑞穂

オオミスアオ空繭

①平塚市日向岡 ②2018年3月中旬
③山本智美

大型の蛾で翅を広げるとなかなか美麗

オオミスアオ(羽化)

①平塚幼稚園園庭 ②2018年5月上旬
③鈴木一汰

ウササミスズメ

①平塚幼稚園園庭 ②2018年4月上旬
③新井梨紗

ウンモンシスズメ

①平塚幼稚園園庭 ②2018年4月上旬
③嵯峨野泰士

セズシスズメ幼虫

①平塚市入野 ②2018年5月下旬
③橋本蓮生愛

マイマイカ幼虫

①平塚市めぐみヶ丘 ②2018年5月中旬
③柴田哲士

モンキアケハ♀

この白紋が特徴

①平塚市めぐみヶ丘 ②2018年5月上旬
③柴田哲士

シャコウアケハ蛹殻

①平岡の森 ②2018年4月下旬
③堀田佳之介

シャコウアケハ♀

①南足柄市大町 ②2018年5月上旬
③新井梨紗・柚稀

今年は幼稚園でもたくさん見られました

シャコウアケハ♀

①平塚幼稚園園庭 ②2018年5月中旬
③石川優



ジャコウアゲハ幼虫
①平岡の森 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介



アゲハチョウ
①平塚市めぐみか丘 ②2018年5月上旬
③柴田哲士



モンキチョウ♂
①平塚市千須谷 ②2018年3月下旬
③柴田哲士



モンキチョウ♀
①平塚市馬入 ②2018年3月下旬
③吉田結陽・夕夏・ゆかり・裕
メスは白っぽい個体が多い



モンシロチョウ
①平塚市千須谷 ②2018年3月下旬
③柴田哲士



ツマキチョウ♂
①平塚市土屋 ②2018年4月下旬
③佐藤菜々果
オスは翅の先端にオレンジの紋がある



ムラサキシジミ♀
①愛川町半原 ②2018年3月中旬
③堀田佳之介
成虫で越冬するチョウ



ツマグロヒョウモン♂
①平塚市めぐみか丘 ②2018年5月下旬
③柴田哲士



ヒオドシチョウ (新成虫?)
①愛川町八音山 ②2018年5月中旬
③堀田佳之介
成虫で越冬するチョウ



ルリタテハ幼虫
①愛川町三増 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介
毒毛がありそうに見えますが、無毒です



ゴマダラチョウ (産卵)
①平岡の森 ②2018年5月下旬
③堀田佳之介



アカボシゴマダラ
①平岡の森 ②2018年5月上旬
③堀田佳之介
生態系被害防止外来種リスト 重点対策外来種 外来
春型は白い部分が多いです



ミヤマセセリ♀
①平塚市土屋 ②2018年4月中旬
③土屋生きもの観察会参加者
春にしが見られないセセリチョウです



ムモンホリアシナガハチ女王 (営巢中)
①小田原市早川 ②2018年5月上旬
③堀田来佳
ハチ目 危★



ヤマトアシナガハチ女王 (営巢中)
①愛川町三増 ②2018年5月下旬
③堀田来佳
県レッドデータブック 2006 絶滅危惧Ⅲ類 危★



セグロアシナガハチ女王
①平塚市岡崎 ②2018年4月上旬
③佐野孫次子・龍生・陽向子・拓生・愛子
危★



キムネクマハチ
①平岡幼稚園副庭 ②2018年4月上旬
③石川まさる
おとなしいハチですが触らないように



アズマヒキカエル? 卵
①秦野市曾屋 ②2018年3月中旬
③山田衛
両生類 卵塊はひも状 ★



アズマヒキカエル
①平塚市黒部丘 ②2018年3月上旬
③堀田佳之介
県レッドデータブック 2006 準絶滅危惧



ニホンアマカエル
①平塚市土屋 ②2018年3月上旬
③堀田来佳
環境に合わせて体色が変わります



ヤマアカカエル? 幼蛙
①秦野市曾屋 ②2018年3月中旬
③山田衛 ★



ヤマアカカエル卵塊?
①平塚市土屋 ②2018年3月上旬
③山本智美 ★



ヒハカリ
①平岡の森 ②2018年3月下旬
③富岡誠一
おとなしくて可愛いヘビです



ニホンヤモリ
①平岡の森 ②2018年4月中旬
③堀田佳之介

<p>鳥類</p>  <p>カルカモ ①平岡の森 ②2018年5月中旬 ③富岡誠一</p>	 <p>アオジ ①平岡の森 ②2018年3月13日 ③堀田佳之介</p>	<p>親鳥が近くにいます、もし見つけたら温かく見守ってあげましょう</p>  <p>シジュウカラ巣立ち雛 ①平塚市中原 ②2018年5月上旬 ③新井梨紗・柚稀</p>	<p>植物</p>  <p>スギナ(ツクシ) ①平塚市坊幼丘 ②2018年3月下旬 ③相澤るか・永人</p>
<p>外来生物法により特定外来生物に指定</p> <p>栽培や野外への放出が禁止されています</p>  <p>オオシキケイキク ①川崎市多摩区狛形 ②2018年5月上旬 ③堀田佳之介</p>	<p>海浜植物</p>  <p>ツルナ ①真鶴町真鶴 ②2018年5月上旬 ③富岡誠一</p> <p>浜辺のお野菜とも言われ、食べられる植物です</p>	<p>海浜植物</p>  <p>ハマヒルカオ&ハマエンドウ ①真鶴町真鶴 ②2018年5月上旬 ③富岡誠一</p>	<p>少ない植物のようなので、採集はしないようにしましょう</p>  <p>イナモリソウ ①愛川町※保護のため地名は伏せてあります ②2018年5月下旬 ③堀田佳之介</p>
<p>珍</p>  <p>アカシタミ ①愛川町 ②2018年5月下旬 ③堀田佳之介</p> <p>ゼフィルスと呼ばれるミドリシジミ類亜科のチョウは美麗種が多く、人気が高いため、愛好家による採集圧が問題になっております。昆虫採集は、自然に親しむ大切な教育活動にもなりますが、地域の自然を壊さないように、マナーや節度を持つことも必要です。(堀田)</p>	<p>珍</p>  <p>ミスイロオナカシジミ ①愛川町 ②2018年5月中旬 ③堀田佳之介</p>	<p>珍</p>  <p>シオヤトシボ(羽化) ①平岡の森 ②2018年4月下旬 ③堀田佳之介</p> <p>岡崎地区では本種が好むような湿地環境は既に消失してしまっています。昨年、地区外からの移動個体と思われるメスが産卵しているのを確認しました。今年は、この他にも数個体の羽化が確認されました。(富岡)</p>	<p>珍</p>  <p>ミヤマカワトンボ ①平岡の森 ②2018年5月上旬 ③富岡誠一</p> <p>河川上流域で発生するトンボ。鈴川の上流部では普通に見られますが、平塚市域での成虫の確認は初めて。流下した幼虫が付近で羽化したものと思われます。同じ個体の可能性が高いですが、同地で複数日目撃しています。(富岡)</p>

活動の成果 (文献紹介)

2017年にみんなで行った「神奈川県内のハルゼミ調査」と「平塚市を中心としたセミのぬけがら調査」の結果をとりまとめて、平塚市博物館研究報告「自然と文化」に寄稿し、第41号が2018年3月に発行されました。園児たちが協力をして、またひとつ地域の自然情報を蓄積できました。

【文献情報】

平岡幼稚園「平岡いきものはっけん隊」・平塚市博物館「セミのぬけがら調査隊」、2018. 平塚市と周辺地域のセミのぬけがら調査(2017年). 自然と文化, (41): 31-50. 平塚市博物館.

平岡幼稚園「平岡いきものはっけん隊」、2018. 神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査(2017年). 自然と文化, (41): 51-65. 平塚市博物館



http://rara.jp/hakkentai/ はっけん隊掲示板の使い方

メールの他に、隊員専用掲示板からもこのコーナーへ報告できます。

- ① 平岡幼稚園HPのリンク集から掲示板へ。または「平岡いきものはっけん隊掲示板」で検索。

- ② パスワードを入力して(平岡HPと同じです。)「LOGIN」ボタンを押す。



- ③ 「氏名」「発見した日時と場所」を入力。

- ④ 「参照」ボタンを押して載せたい写真を選ぶ。画像リサイズ等の加工は不要です。



- ⑤ 「投稿」ボタンを押して完了です。

掲示板最下部の「新着投稿をメールで受け取る」というリンクからメールアドレスを登録すると、新着投稿があった際にメールで通知が届きます。ぜひご利用下さい。

地域の自然を知ろう!遊ぼう!守ろう!

A はっけん隊 アクションレポート Action Report 2018.3月~5月

平岡幼稚園では、園内外の様々な環境に目を向け、地域の自然とのふれあいを深めながら、自然を守っていく活動に取り組んでいます。

自然の楽しさを全身で感じる子どもたち♪

真鶴ハルゼミ調査にて (5/4)

ハルゼミ調査 講習会「ハルゼミってどんな生き物？」

調査を始める前に、まずはハルゼミがどんなセミなのかを知ってもらうため、講習会を実施しました。

標本や動画を使って他のセミ類との比較をしたり、生態的な特徴（晴れた日によく鳴いて合唱する・松の木のある場所にしか生息しないなど）についてお話をしました。



平塚市のセミ7種「ハルゼミはどれ？」



ハルゼミのお勉強動画に見入る園児たち

ハルゼミ調査 2018

ハルゼミは、マツ枯れの流行によって全国的に生息状況が悪化しています。そこで、2015年より園児・教職員が協力して県内のハルゼミの生息状況を調べています。今年度は、東京と神奈川の県境で新産地を発見し、真鶴などでは発生消長も記録でき、大きな成果を上げました。

ハルゼミの鳴き声に耳を澄ませていると、風の音、新緑の葉が揺れる音、鳥のさえずり、虫やカエルの鳴き声など、多くの音が耳に入ってきます。今年も子どもたちと共に、この「春～初夏の音」を聞く世界を楽しめたことが、私にとって最大の喜びです。

春に鳴くセミなんて今まで知らなかったで、鳴き声がたくさん聞けて良かったぞ (園児母)



ハルゼミ合同調査参加者の皆様 (上 4/30・下 5/4)



おまけ
三ツ石海岸に降りて「磯遊び」

湘南って砂浜ばかりなので、磯場ごっこが見れて楽しかったぞ (園児母)



ずっと見たかったハルゼミの成虫を見てご満足 (園児)



ぬけがらはあまり見つからなかったけど、いっぱい鳴いていて感動しました (園児母)



どっかいかニ持てたよ〜♪



やったー!
ハルゼミのぬけがら見つけたよ!



セミもみつけるのが楽しかった! (園児)

ハルゼミいないかな〜?

鳴き声はあるの?!

ひらつか環境パネル展

平成30年3月20日(火)～28日(火)まで、平塚市庁舎1F多目的ホールにて開催された「ひらつか環境パネル展」に参加しました。我が園では、2009年4月より園地をビオトープ化しながら、園の周辺に住む生き物を呼び込む活動を始めて、満9年を迎えました。2018年6月現在、園地では400種以上の生き物が記録されており、地区内の生物の重要なネットワーク拠点となっていることを、広く市民に向けて発信しました。また、「平岡いきものはっけん隊」や「湘南自然誌」についても広報いたしました。



平塚市役所 1F 多目的ホールにて

こども環境管理士交流会

平成30年4月28日(土)、都内で開催された第3回こども環境管理士交流会において、佳之介園長が「五感を研ぎ澄ませて自然を楽しもう」をテーマに、平岡幼稚園の取り組みを交えながら、講演を行いました。当日は、本誌バックナンバーのほか、我が園のパネルも展示し、「平岡いきものはっけん隊」の情報発信も行いました。

”こども環境管理士”とは…

子どもと自然をつなぎ、子どもの豊かな心や感性を育てていくことのできる保育者のための資格です。(公財)日本生態系協会が資格認定しています。



御茶ノ水の会議場で講演してきました

親子で探検！春の生き物探し

平成30年4月21日(土)9:30～11:30、平塚市土屋にある「土屋里山体験フィールド」に遊びに行ってきました。同地は、綺麗な湧き水が自噴して湿地や田んぼが広がるほか、周りには豊かな里山が広がっています。この地形を「谷戸」と呼びます。谷戸は、様々な環境がセットで存在するため、生物の多様性が最も高い環境の1つとされています。このような豊かな自然環境の中、森の中、草の中、水の中の世界をのぞきながら、たくさんの生き物探しを楽しみました♪

園でスマートフォン用のマクロレンズをいくつか用意して、保護者の皆さんに使っていただきました。小さいものでも大きく撮影することができるので、小さな昆虫を撮影するときにお勧めです。



ここは湧水谷戸と呼ばれ、昔は簡易水道として利用されていた、水の豊かな所です。



スマホ用マクロレンズを付けて虫の撮影

あごーい！こんなに近くてもピン트가合う！



春にしか見られないツマキチョウ(左)とミヤマセセリ(右) スプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれます。

「チョウチョが捕れて楽しかった」(園児)



久しぶりに自然に触れられて楽しかったです。子どもたちにもっと楽しさを伝えていきたいです。(園児父)

カタツムリを見つけて嬉しかった(園児)



網を振ってみたら楽しかったです。意外と難しかったですけど(笑)(園児父)

カエルとトカゲが見つかった良かった(園児)



あっ！キアゲハだ！

やったー！アマガエルつかまえた！

虫が捕れて面白かった(園児)

私たちの住む街周辺部にみられる
気を付けたい生きものを紹介します。
※ 注意喚起のため、Vol.5に掲載した内容を
一部写真変更して再録しました。

特集2 覚えておきたい! あぶない生きもの

5月、高取山から望む宮ヶ瀬湖

文責：堀田佳之介

【ヘビ類】



湘南地域にいる毒ヘビ

マムシ

ヤマカガシ

マムシ・ヤマカガシは、県レッドデータ種となっており、どこにでもいるヘビではありません。湘南地域では、丘陵地の湿った場所などで出会う危険があります。草むら(藪)などに入る時は、特に気を付けましょう。

見かけたら刺激せずにそおーっと立ち去ってください。

(湘南地域にいるこの他のヘビ類は無毒です。)

【ハチ類】



コアシナガバチの巣

クロスズメバチの巣

草の中

土の中

色々なところに巣を作るよ

枝の中

樹洞の中

コガタスズメバチの巣

モンズズメバチの巣

毒針は産卵管が変化したもので、毒針を持つのはメスのみ(毒針を持たない種もいます)。オスは刺しません。手で持つ・払う、巣を刺激する、などをしなければ刺されることはありません。

ほとんど人が立ち入らないような草むら・樹林帯では、巣に注意しましょう。

☆ハチを見かけた時のお約束☆

○じっとしている

通常は私たちが何もしなければ、ハチも何もしてきません

○巣に近づかない

同じ種類の複数のハチが行ったり来たりしているような場所は、近くに巣がある可能性が高いので、静かにその場を離れましょう。

【毛虫】



モンシロドクガ

毛虫(毛のあるイモムシ)は、沢山の種類がありますが、毒針毛を持つものは限られています。ただし、毒の有無がよく分かっていない種類もあるので、触らないようにしましょう。

ここでは、身近で見られる毒針毛を持つ種を紹介します。



ヒロヘリアオイラガ

サクラ・カエデ・ケヤキなど



チャドクガ

ツバキ・サザンカ・茶



ドクガ 撮影：岸一弘氏

サクラ・ウメ・クヌギ・コナラなど



マツクureバ

マツなど



ヨツボシホバ

樹木に付いたコケなど



タケノホソクロバ

竹・笹類

【サシガメ類・マツモムシ】



ヨコヅナサシガメ

撮影：佐野愛子

近年増えている南方系種



オオトビサシガメ

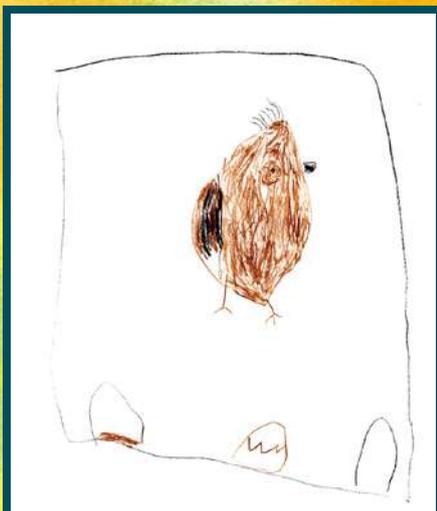
日本最大級のサシガメ

肉食性のカメムシ(サシガメ類・マツモムシなど)は、手で触ると稀にストロー状の口で刺されることがあります。不用意に触らないようにしましょう。



マツモムシ (水棲昆虫)

腹側を上にして泳ぎます



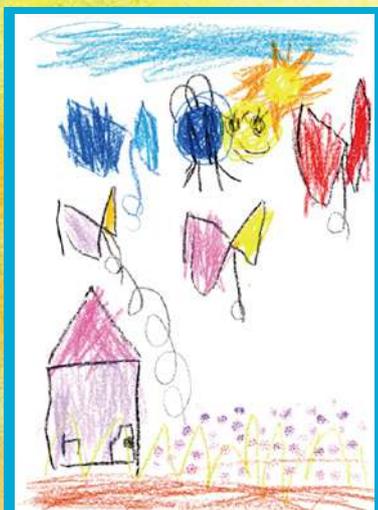
「といのおうち」
いいだ やまと (6才)



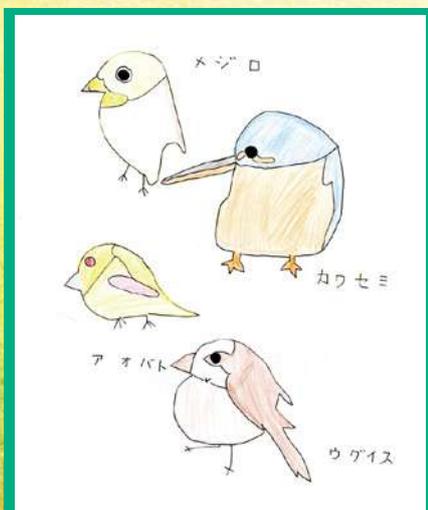
「しろいスズメとにじいろのスズメ」
のむら さく (5才)



「タゲリ(オス)」
のむら さく (5才)



「おはなのみつをあうちょうちょう」
のむら さく (5才)



「いろいろなと」
堀田 ゆら (10才)

生き物絵画大募集!

テーマは自然!

A4 サイズ・縦向きで
裏に題名と氏名・年齢
を書いて
幼稚園まで持ってきてね♪

【ムカデ類】

毒があるので咬ま
れると腫れたり痺れたりし
て痛むので触らないよう
にしましょう。



トビズムカデ

【マダニ・蚊・アブ類】



マダニの一種

長袖・長ズボンを着用す
ることで、刺されるリスクを大幅
に減らすことができます。生き
物探しをするときは、安全のため
服装にも気を使いましょう。



ヒトスジシマカ



ウシアブ

【やけど虫と呼ばれる昆虫】

これらの仲間は、体液に触れると水膨れになります。
触らないようにしましょう。



ヒメツチハンミョウ



マメハンミョウ



アオバアリガタハネカクシ

夜、灯りに集まるので注意



アオカミキリモドキ

危険な生き物のことを知っておくことで多
くのリスクは回避できます。楽しく野外遊
びをするためにも、正しい知識を持ちましょ
う。

「平岡いきものはっけん隊」と「湘南自然誌」について

「平岡いきものはっけん隊」って?

「平岡いきものはっけん隊」(略称:はっけん隊)は、平岡幼稚園の在園児と卒園児及びその家族と、教職員で構成されています。各界有識者の助力を得ながら、隊員それぞれができる範囲で自然と関わる機会を作っています。

「湘南自然誌」はどんな本?

本誌は、子どもから大人まで自然の不思議・面白さをより深く楽しみながら学ぶための教育誌です。また、園や隊の活動とその成果の報告を行い、地域の自然情報を広く発信する情報誌でもあります。



国立国会図書館等に収蔵されました

湘南自然誌が、郷土資料(区分:雑誌)として「国立国会図書館」「神奈川県立図書館」に全号の収蔵が決まりました。また、平塚市図書館では、Vol.1～8が合冊され、地域資料コーナーに並ぶ予定です。

本誌は毎号、地域の知的財産として、永続的に公共機関に保管されていきます。今後も地域の貴重な自然情報を掲載していけるよう、皆様と一緒に本誌を作っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

はっけん隊からのお知らせ



「ひらつか環境フェア2018」出展のお知らせ

平成30年7月18日(水)～22日(日)に「平塚市役所」および「ららぽーと湘南平塚」等で、ひらつか環境フェア2018が開催されます。

平岡幼稚園(平岡いきものはっけん隊)では、全日パネル展示を行うほか、22日(日)10:00～16:00に「セミのぬけから見分け方図鑑づくり教室」を出展します。お近くにおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

問い合わせ：平塚市環境政策課0463-21-9762

『湘南自然誌』バックナンバー

① HPでダウンロード

平岡幼稚園のHPからPDFがダウンロードできます。

<http://hiraoka-kg.com/>

② 公共施設で閲覧

収蔵先>国立国会図書館、神奈川県立図書館、神奈川県立生命の星・地球博物館、神奈川県立秦野ビジターセンター、平塚市博物館、平塚市図書館、大磯町立図書館、大磯町郷土資料館、秦野市くずはの家、平塚市子育て支援センター

読者プレゼント!

本誌Vol.7の特集に協力して下さった鶴見大学の山田吉郎教授の新作童話集『なべわり山のふうたろう』が2018年4月に発行されました。

発行を記念して山田教授より、読者の皆様に2冊プレゼントして下さいました。ご希望の方は「はっけん隊メールアドレス」まで。(締切は7/20 応募多数の場合は抽選)

ikimono@hiraoka-kg.com



丹沢山麓・童話集2『なべわり山のふうたろう』(山田吉郎著・夢工房・定価900円+税)

平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生き物呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全する活動を行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

- 【受賞歴】2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「学校園庭ビオトープ奨励賞」受賞
2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞
" 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞
2018年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017「日本生態系協会賞」受賞

【主な研究・発表実績】

- ◆2015年
平塚市内のセミのぬけから調査(2014年)。自然と文化、(38): 33-46。平塚市博物館。
- ◆2016年
平塚市とその周辺地域のセミのぬけから調査(2015年)。自然と文化、(39): 41-59。平塚市博物館。
神奈川県西部(主として平塚市)のハルゼミ調査。自然と文化、(39): 29-40。平塚市博物館。
神奈川県平塚市でミンミンゼミ赤色型を採集。Cicada, 22(2): 40。日本セミの会。
平岡幼稚園(平塚市岡崎)でヒラタクワガタを目撃。神奈川虫報、(190): 26-27。神奈川昆虫談話会。
- ◆2017年
平塚市におけるトンボ目の生息状況(2015-2016)。神奈川自然誌資料、(38): 59-66。生命の星・地球博物館(共著)
平塚市と周辺地域のセミのぬけから調査(2016年)。自然と文化、(40): 41-60。平塚市博物館。
神奈川県におけるハルゼミ*Terpnosia vacua*(Olivier.1970)調査。自然と文化、(40): 61-80。平塚市博物館。
アブラゼミ脱皮殻にみられた畸形。Cicada, 23(2): 37-38。日本セミの会。
- ◆2018年
平塚市と周辺地域のセミのぬけから調査(2017年)。自然と文化、(41): 31-50。平塚市博物館。
神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査(2017年)。自然と文化、(41): 51-65。平塚市博物館。

はっけん隊のお約束

① 安全第一!

「どうしたら危ないかな?」を親子で考えて、お子さまの危険を察知・回避する力を養いましょう。

② 持って帰るなら最後まで飼う、逃がすなら元の場所に!

生き物の分布域を人の手で攪乱すると、地域の生態系を乱してしまう可能性があります。

編集後記

今号から、紙面のデザインのリニューアルをし、内容も少し整理してみました。それと共に、平成30年度より冬号を増刷して、卒園児と新入園児それぞれに配布することにしました。

今回の特集では教育者ならではのお話が伺えました。心を育てるのが理科教育なんだという一見意外なとらえ方が、対談を読み進めていくと自然に理解できるかと思えます。一寸木先生、良いお話をありがとうございました。

いくつかの生きものの同定は岸先生にお願いしました。岸先生、ありがとうございました。(富岡)

※ 本誌の無断転載はご遠慮ください